

奈良県の経済動向

令和元年9月

奈良県知事公室統計分析課

「奈良県の経済動向」は、奈良県における経済活動の主要分野に着目し、当該分野の経済指標の時系列変化や、全国・近畿各府県との比較により、奈良県の経済状況を分かりやすく、ビジュアルに取りまとめたものです。

内容についてのご照会・ご意見は、奈良県総務部知事公室統計分析課企画分析係までお願いします。

〒630-8501 奈良市登大路町30 （電話）0742-27-8439

ホームページアドレス <http://www.pref.nara.jp/40171.htm>

～ 目 次 ～

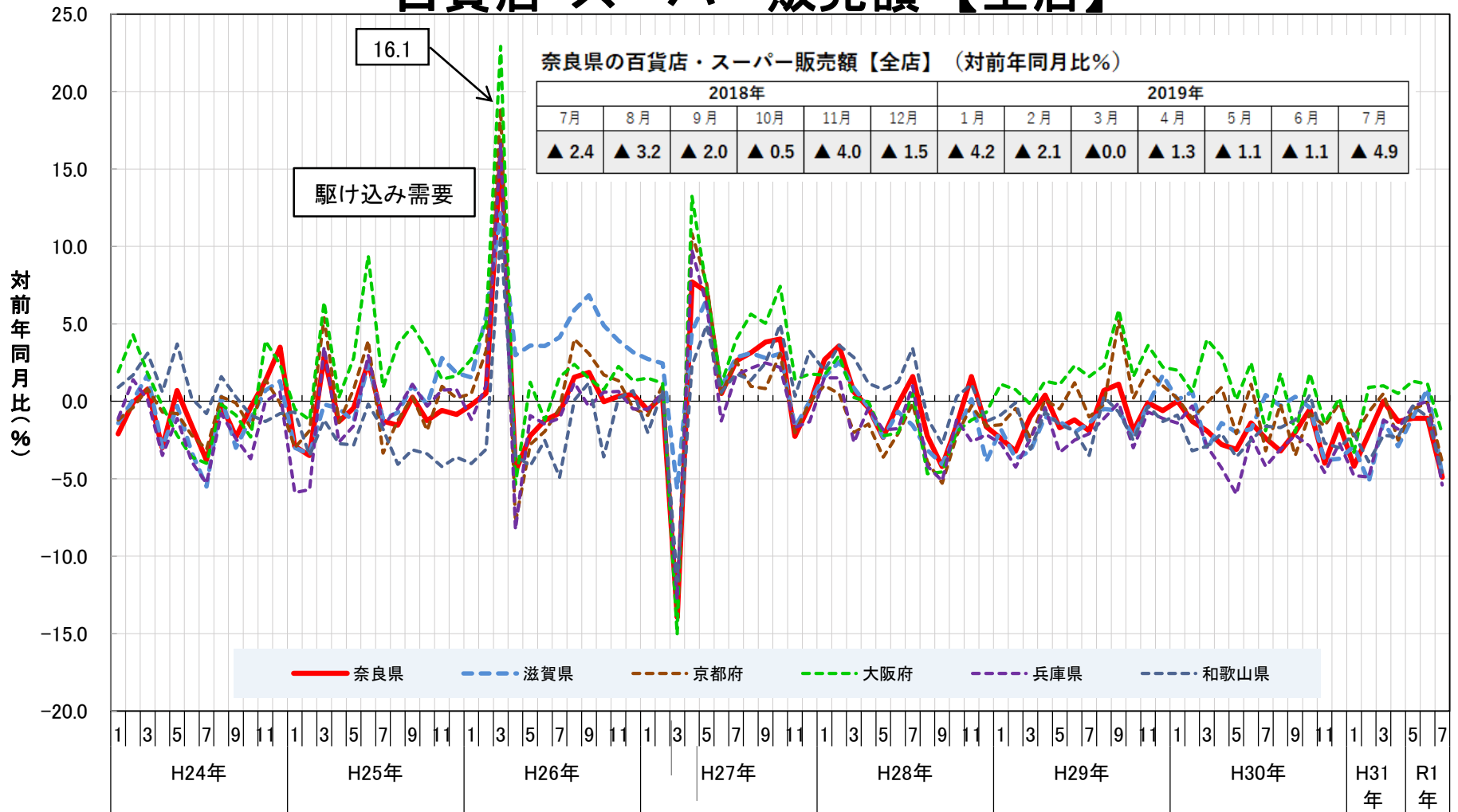
		頁
A. 消費	【小売販売】 百貨店・スーパー販売状況、新車販売	1～3
	【物 価】 消費者物価指数	4
B. 生産	【観 光】 観光客数、県内延べ宿泊者数	5～6
	【生 産】 鉱工業生産指数	7
C. 投資	【民間投資】 新設住宅着工戸数 建築着工床面積	8～10
	【公的投資】 公共工事	11
D. 金融	【貸出残高】 銀行貸出残高、信用金庫貸出残高	12～13
E. 雇用	【求 人】 有効求人倍率、新規求人倍率	14～17
	【賃 金】 現金給与総額等	18～19
F. 景 気	【倒 産】 企業倒産件数、負債総額	20～21
	【景気全般】 景気動向指数	22

A. 消費【小売販売】（1）百貨店・スーパー販売額の推移

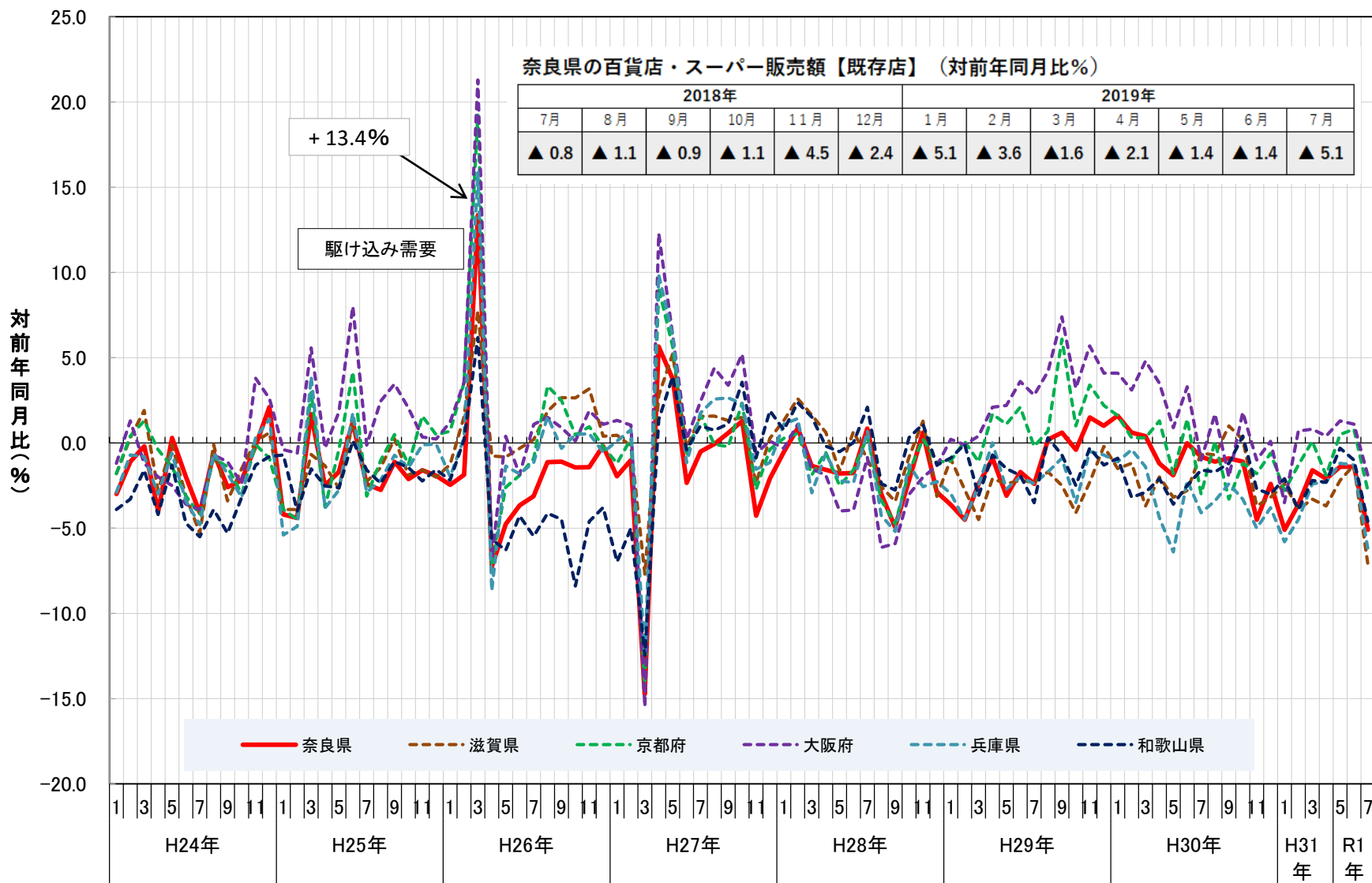
1

○ 令和元年7月の百貨店・スーパー販売額の対前年同月比は、全店ベースで18ヶ月連続マイナス、既存店ベースでは16ヶ月連続マイナス。

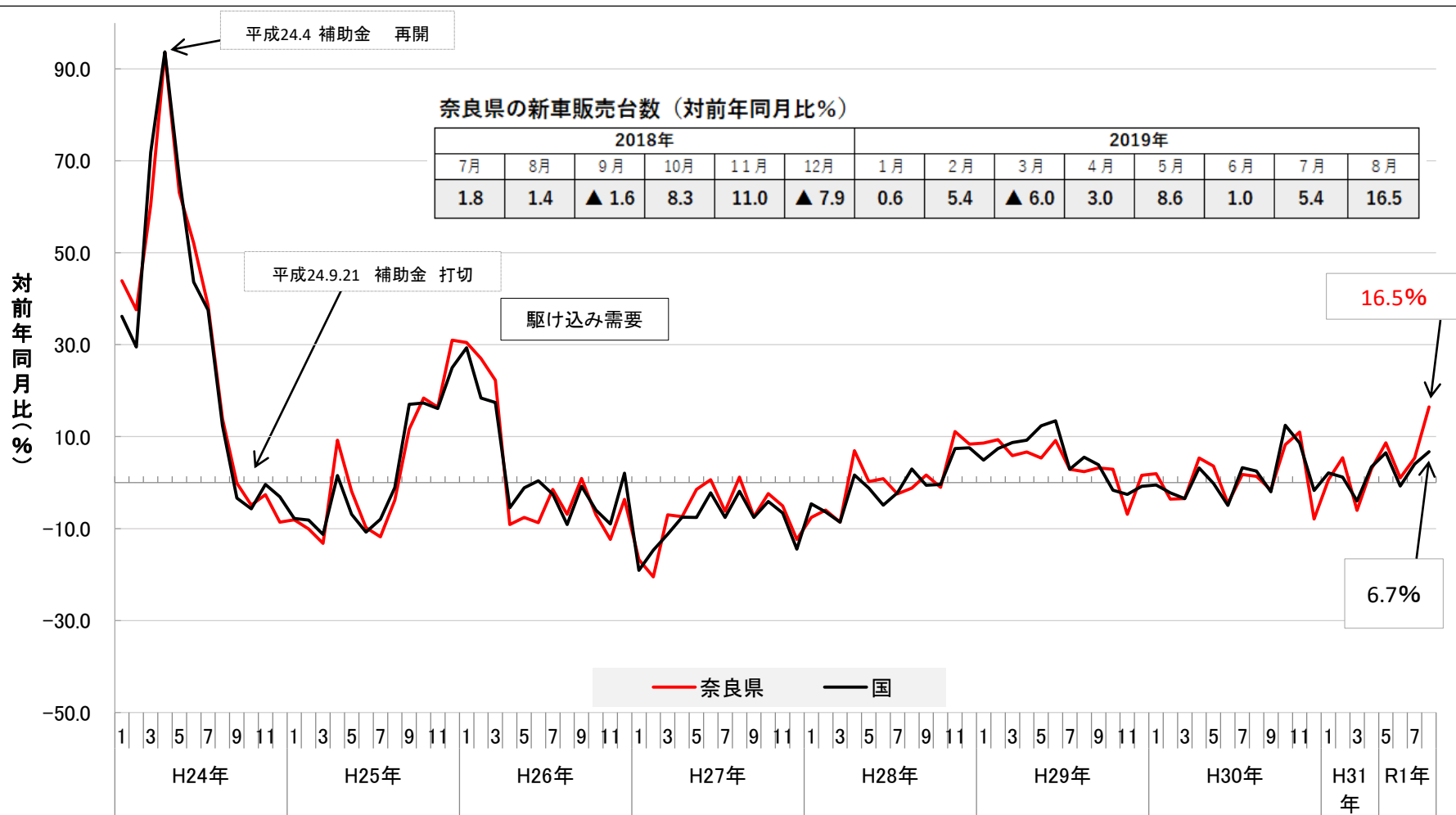
百貨店・スーパー販売額【全店】



百貨店・スーパー販売額 【既存店】



出典：国土交通省国土政策局

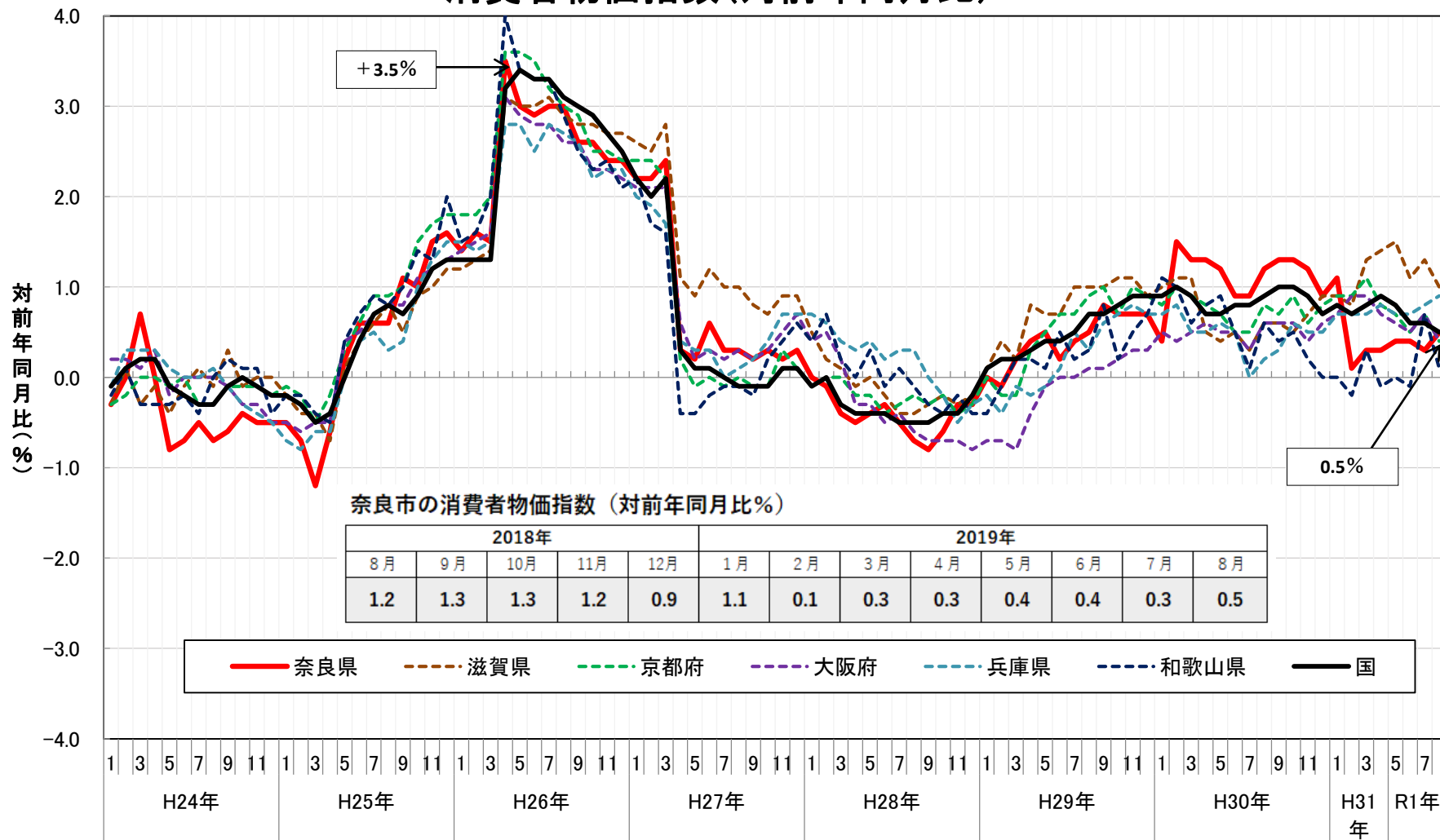


A. 消費【物価】 消費者物価指数(CPI)の推移 - (生鮮食料品を除く総合) - 4

○消費者物価指数の対前年同月比は、+0.5%となった。

出典：近畿各府県消費者物価指数

消費者物価指数(対前年同月比)

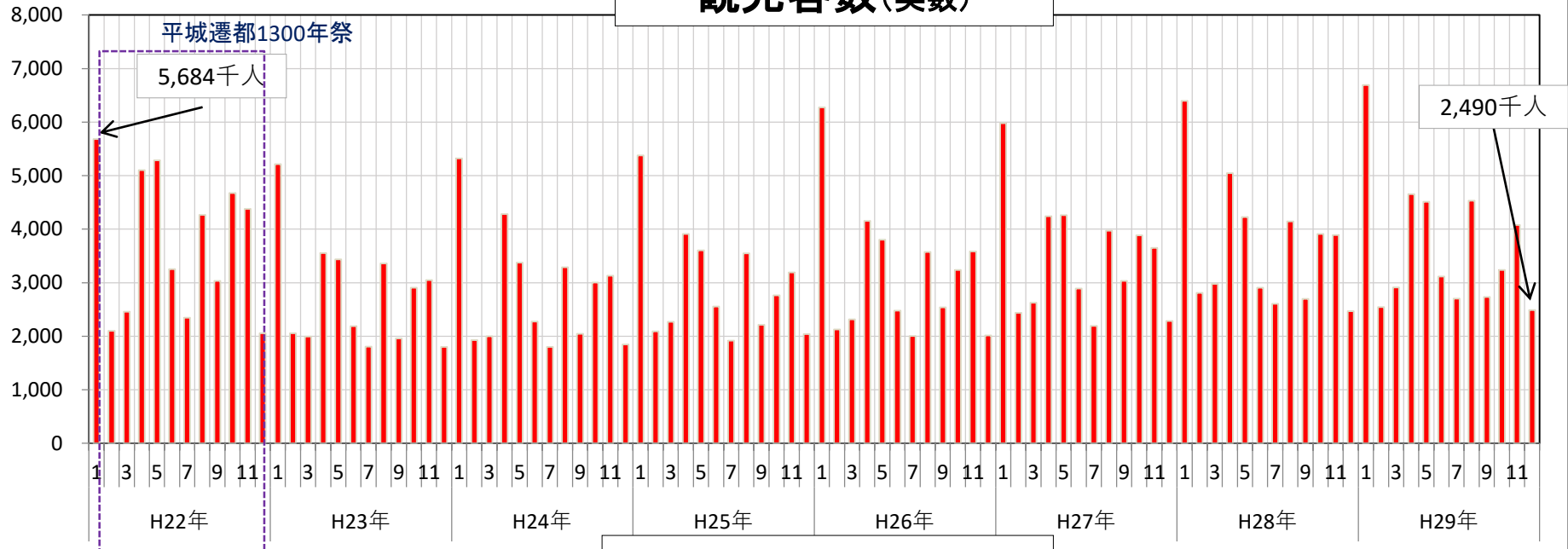


B. 生産【観光】（1）観光客数の推移

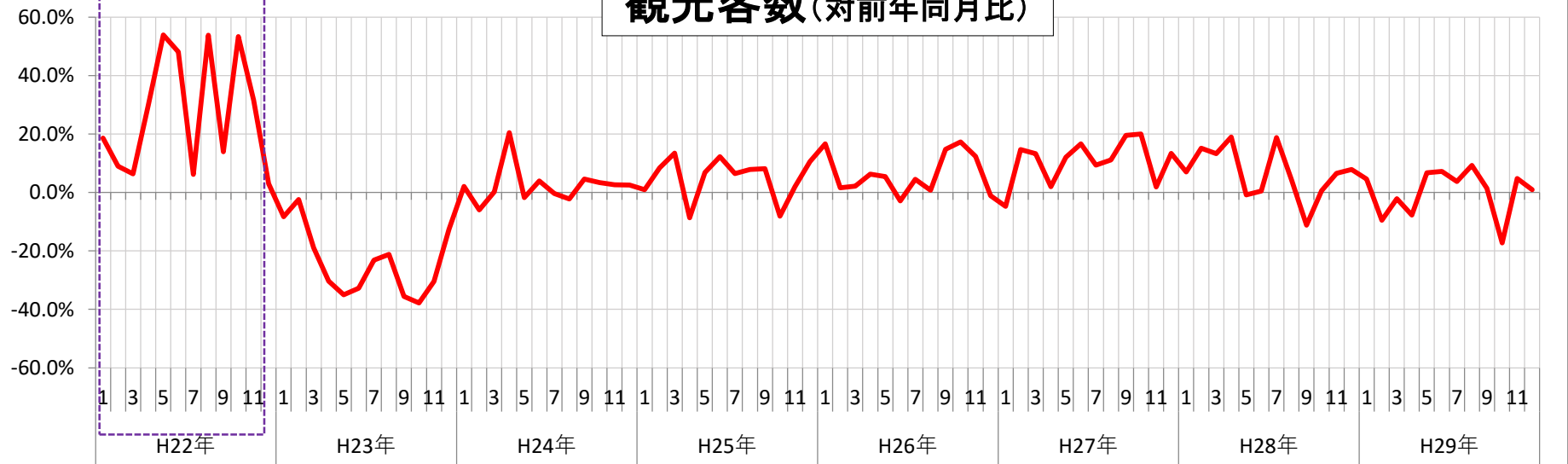
出典：奈良県観光客動態調査

5

観光客数(実数)



観光客数(対前年同月比)



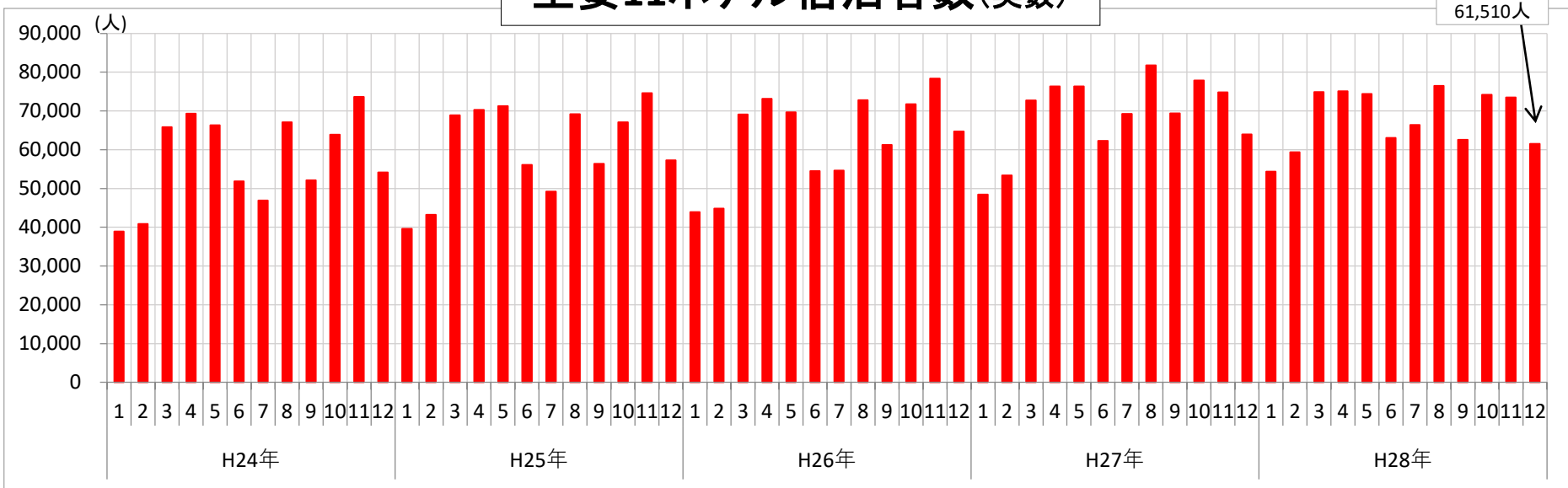
※参考 平成29年12月までのデータ

B. 生産【観光】(2) 県内延べ宿泊者数の推移（主要11ホテル） 6

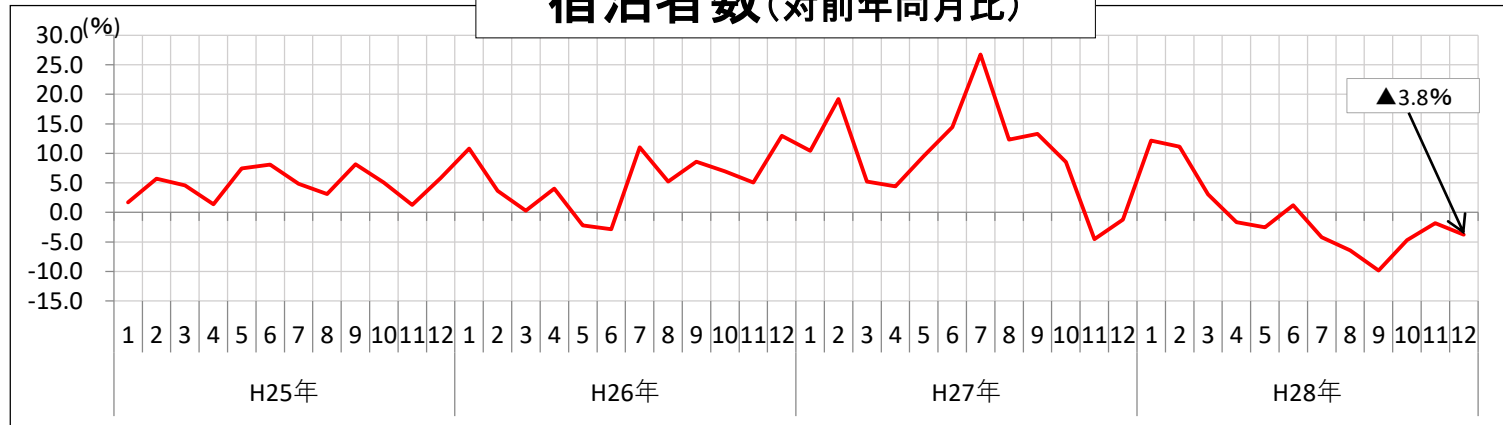
○ 主要11ホテル宿泊者数の対前年同月比は、平成28年12月に6か月連続でマイナスとなった。

出典：奈良県ならの観光力向上課

主要11ホテル宿泊者数(実数)



宿泊者数(対前年同月比)



B. 生産【生産】 鉱工業生産指数の推移 (H27年 = 100 国値はH27年=100) 7

○ 鉱工業生産指数は、令和元年7月に2か月ぶりに上昇した。

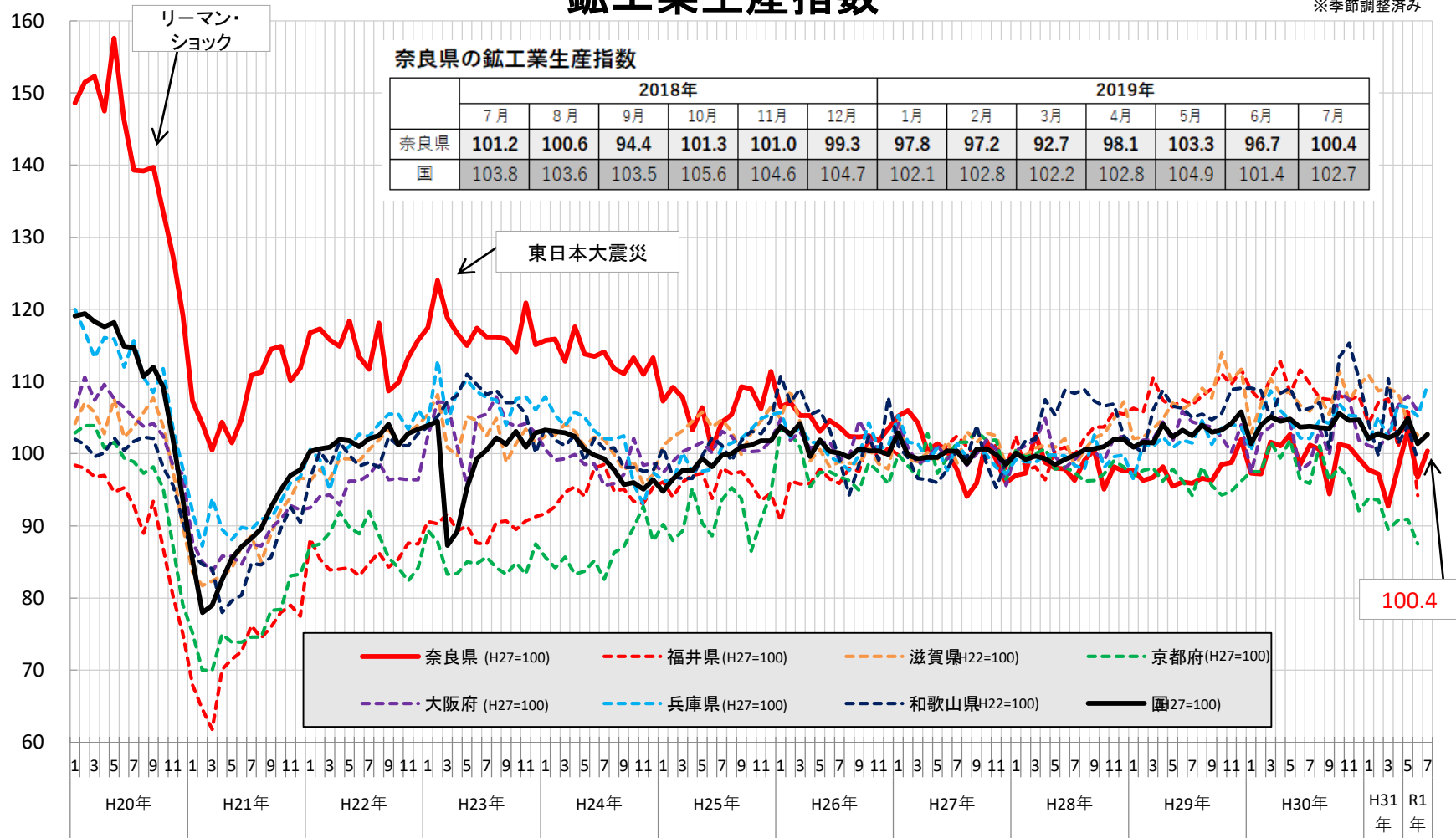
出典：各府県鉱工業生産指数

鉱工業生産指数

※季節調整済み

奈良県の鉱工業生産指数

	2018年						2019年						
	7月	8月	9月	10月	11月	12月	1月	2月	3月	4月	5月	6月	7月
奈良県	101.2	100.6	94.4	101.3	101.0	99.3	97.8	97.2	92.7	98.1	103.3	96.7	100.4
国	103.8	103.6	103.5	105.6	104.6	104.7	102.1	102.8	102.2	102.8	104.9	101.4	102.7



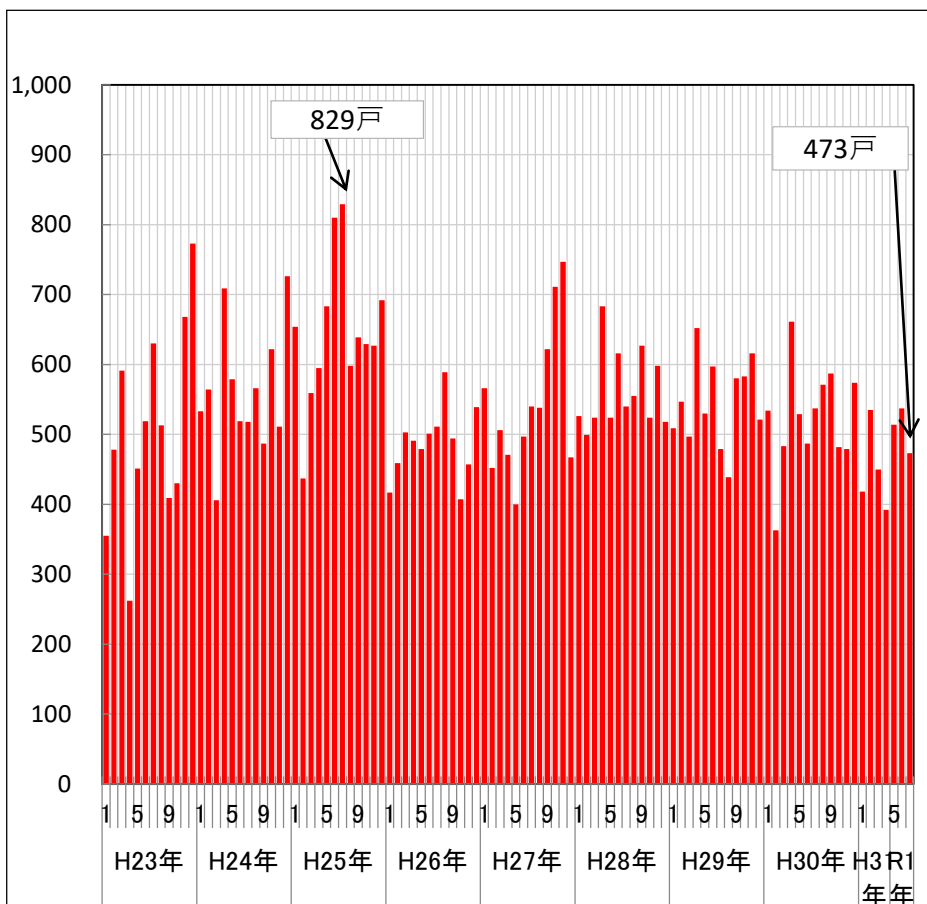
注：最新月分が公表されていない県について、公表され次第追加します。

注：府県によって基準年が異なる。国のH25年以前の値は、接続指数を採用

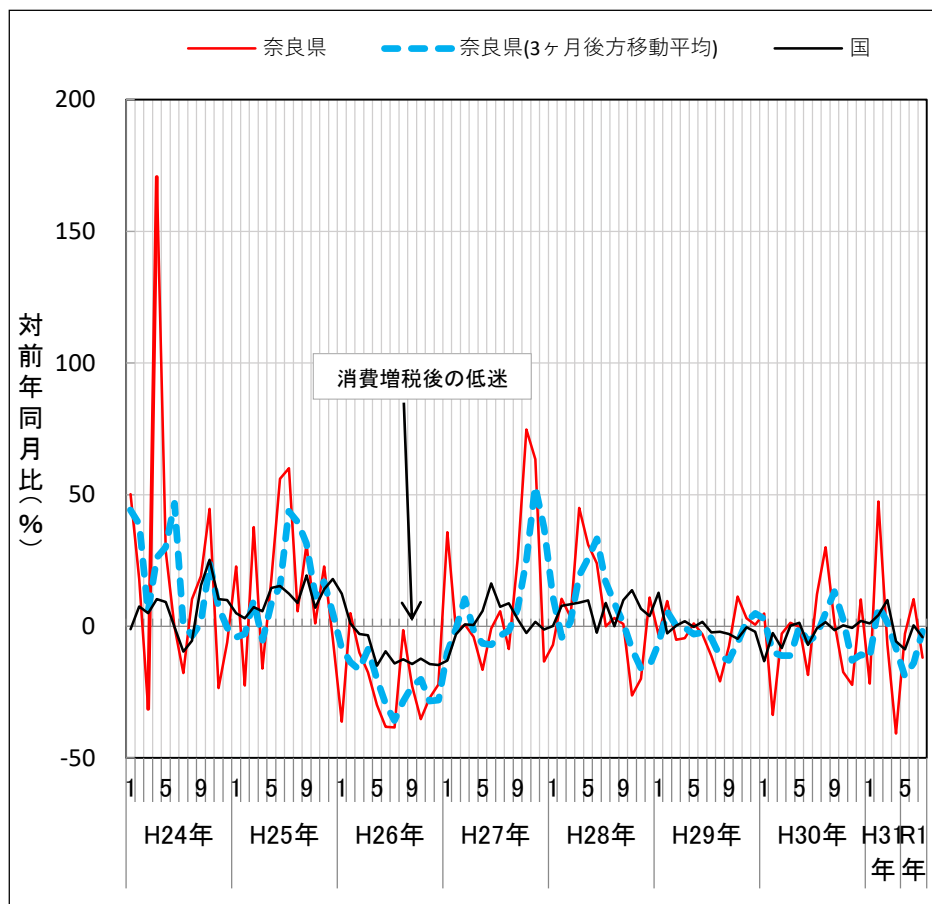
○ 新設住宅着工戸数は、令和元年7月に473戸となった。

出典：国土交通省 住宅着工統計調査

新設住宅着工戸数(実数)



新設住宅着工戸数(対前年同月比)

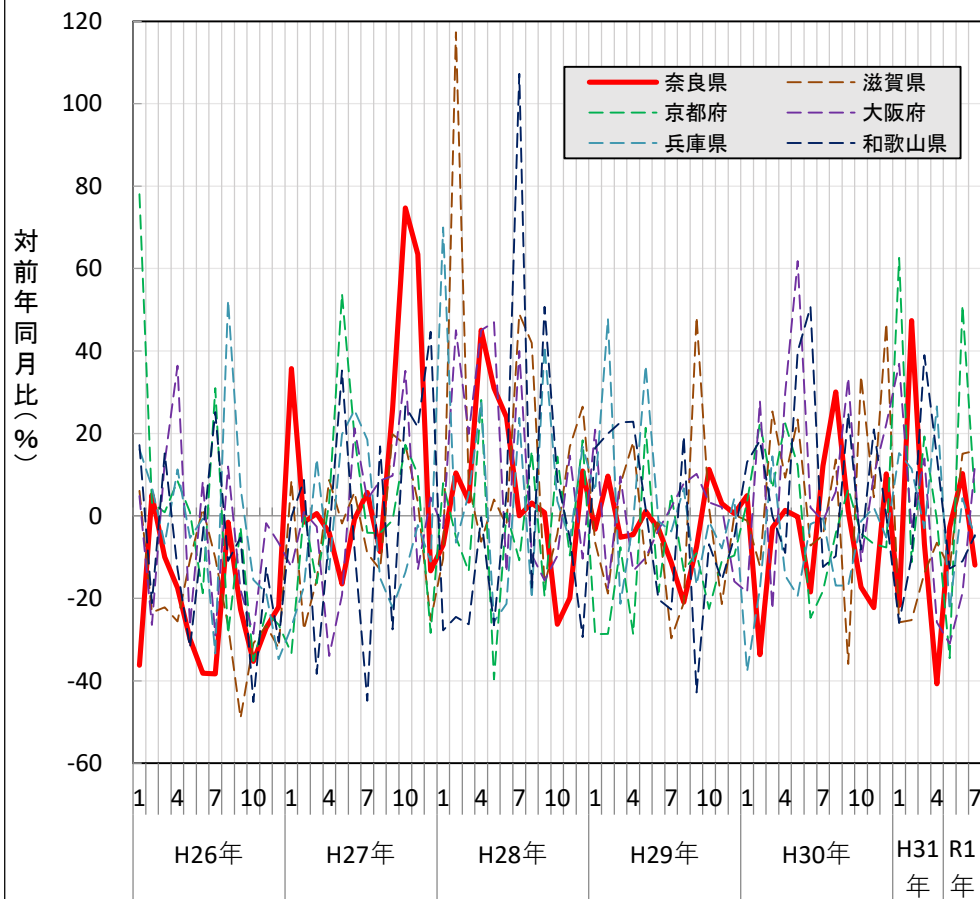


※ 3ヶ月後方移動平均＝足下の基調の変化をつかむため、当月を含む直近の3ヶ月の平均を当月の値とする統計手法

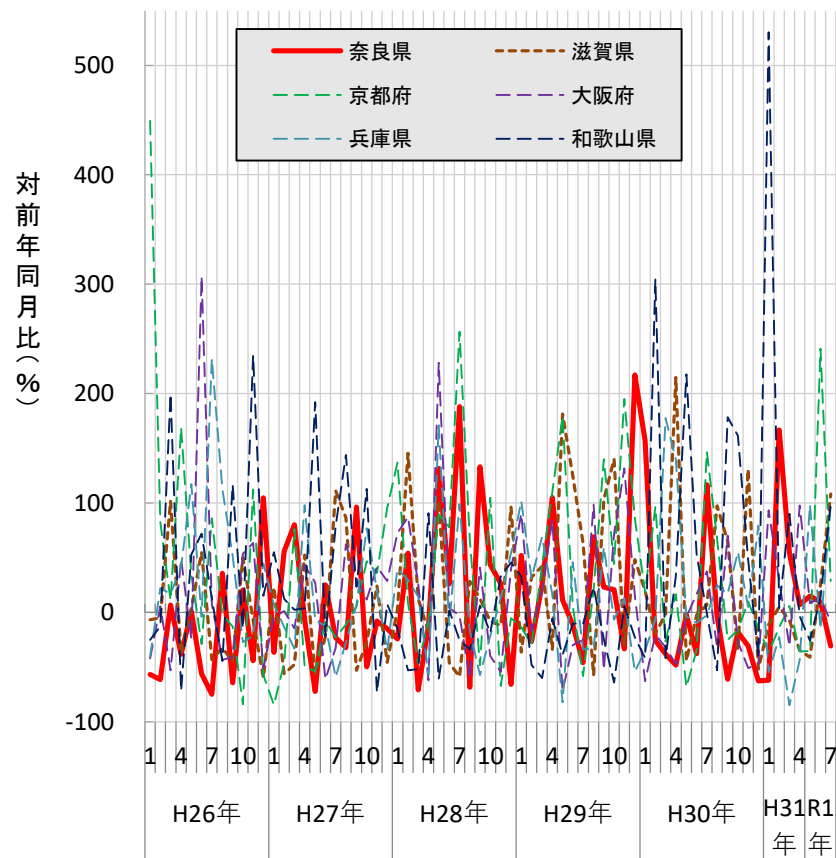
新設住宅着工戸数(対前年同月比)

奈良県の新設住宅着工戸数(対前年同月比%)

2018年						2019年						
7月	8月	9月	10月	11月	12月	1月	2月	3月	4月	5月	6月	7月
12.1	30.1	1.2	▲ 17.3	▲ 22.2	10.2	▲ 21.7	47.4	▲ 6.8	▲ 40.7	▲ 2.8	10.3	▲ 11.9



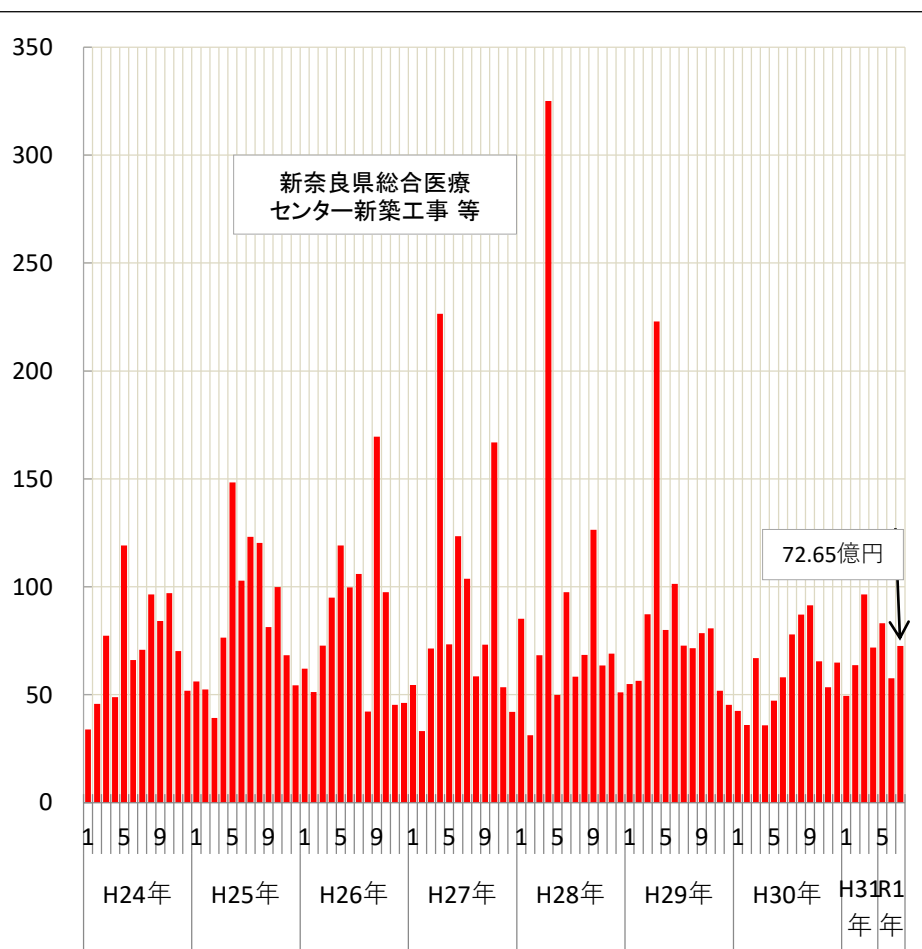
建築着工床面積(対前年同月比)



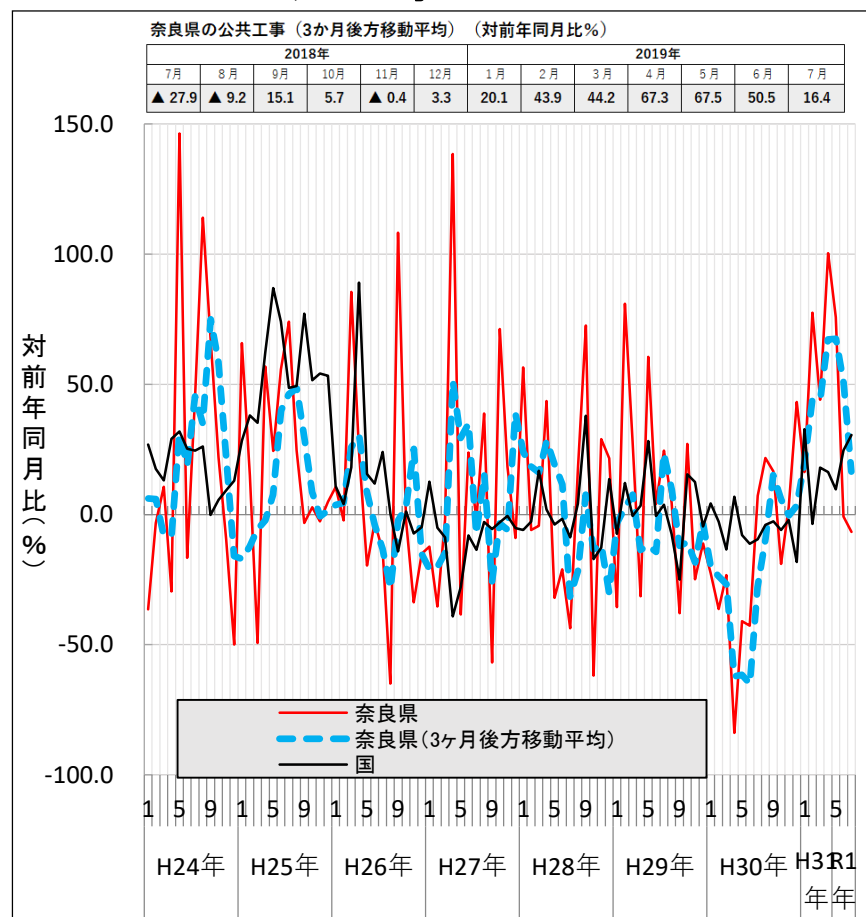
○ 公共工事の対前年同月比(3ヶ月後方移動平均)は、令和元年7月に8か月連続でプラスとなった。

出典：西日本建設業保証株式会社 公共工事動向
国土交通省 建設工事受注動態統計調査

(億円) 公共工事(実数)



公共工事(対前年同月比)

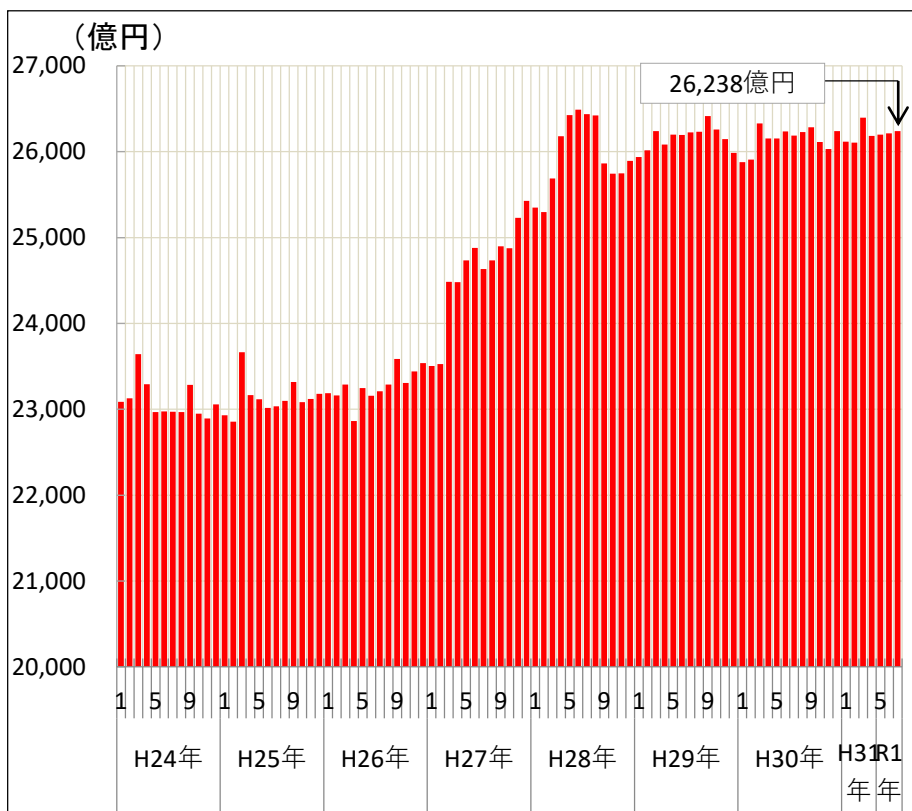


※ 3ヶ月後方移動平均＝足下の基調の変化をつかむため、当月を含む直近の3ヶ月の平均を当月の値とする統計手法

○ 令和元年7月の貸出残高は、対前年同月比で+0.2%となった。

出典：日銀長期時系列データ

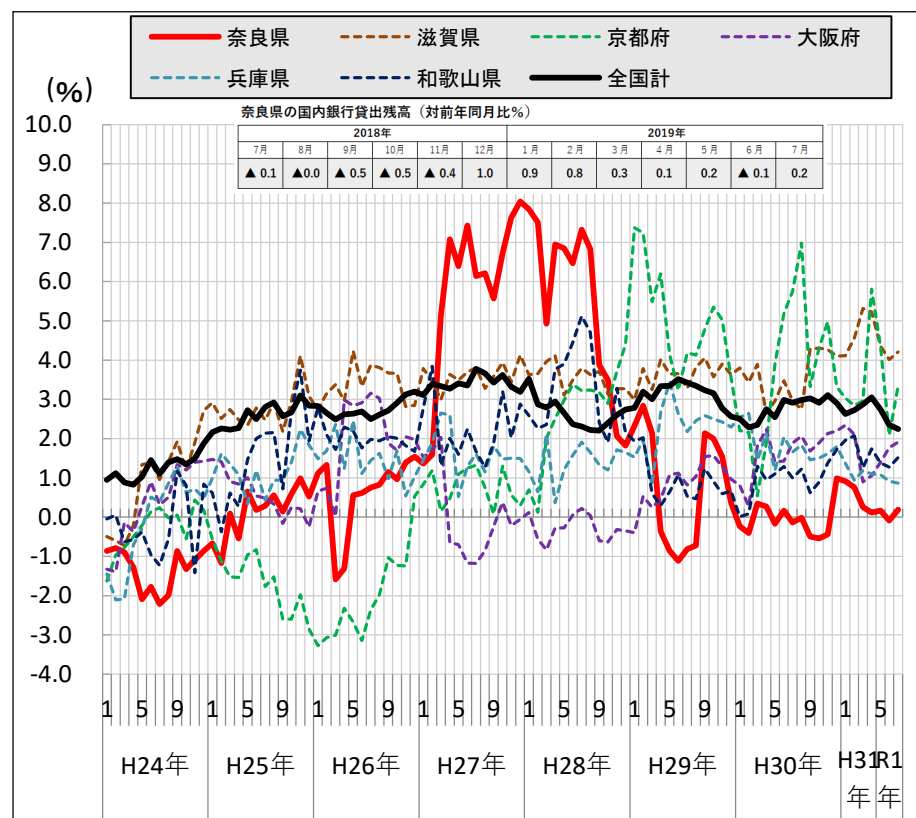
国内銀行貸出残高実数(奈良県)



※ 奈良県内に本・支店のある国内銀行(都銀、地銀、第二地銀、信託銀行)の貸出残高

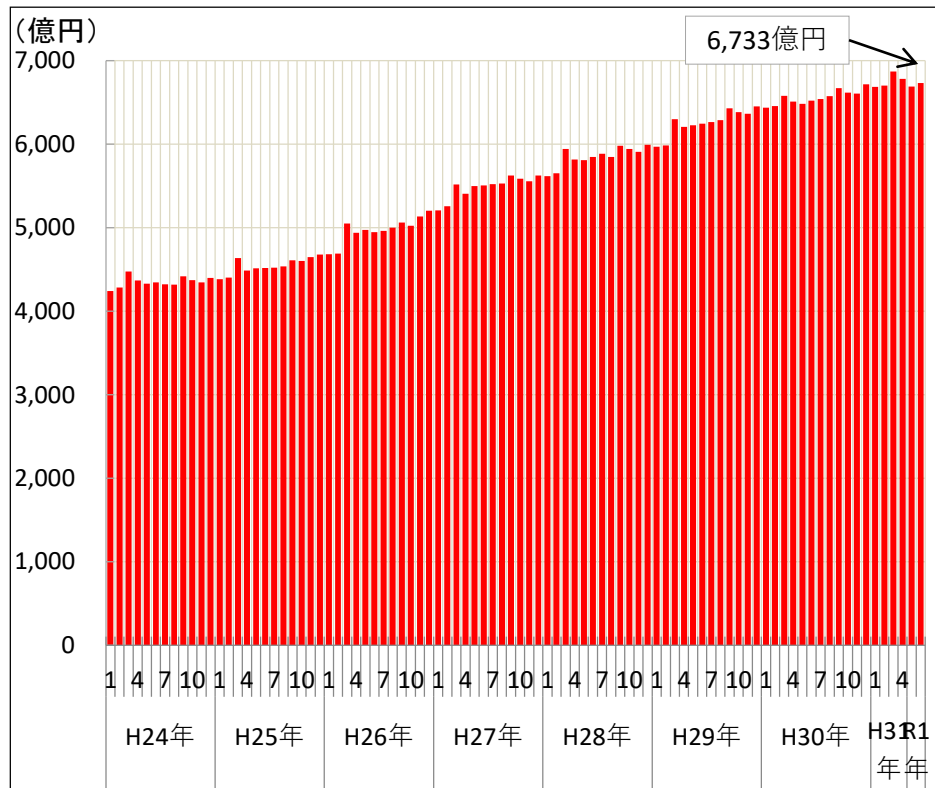
国内銀行の貸出先には、県外企業・個人への貸出も含まれます。

対前年同月比(%)



○ 令和元年6月の貸出残高は、対前年同月比で+3.2%となった。

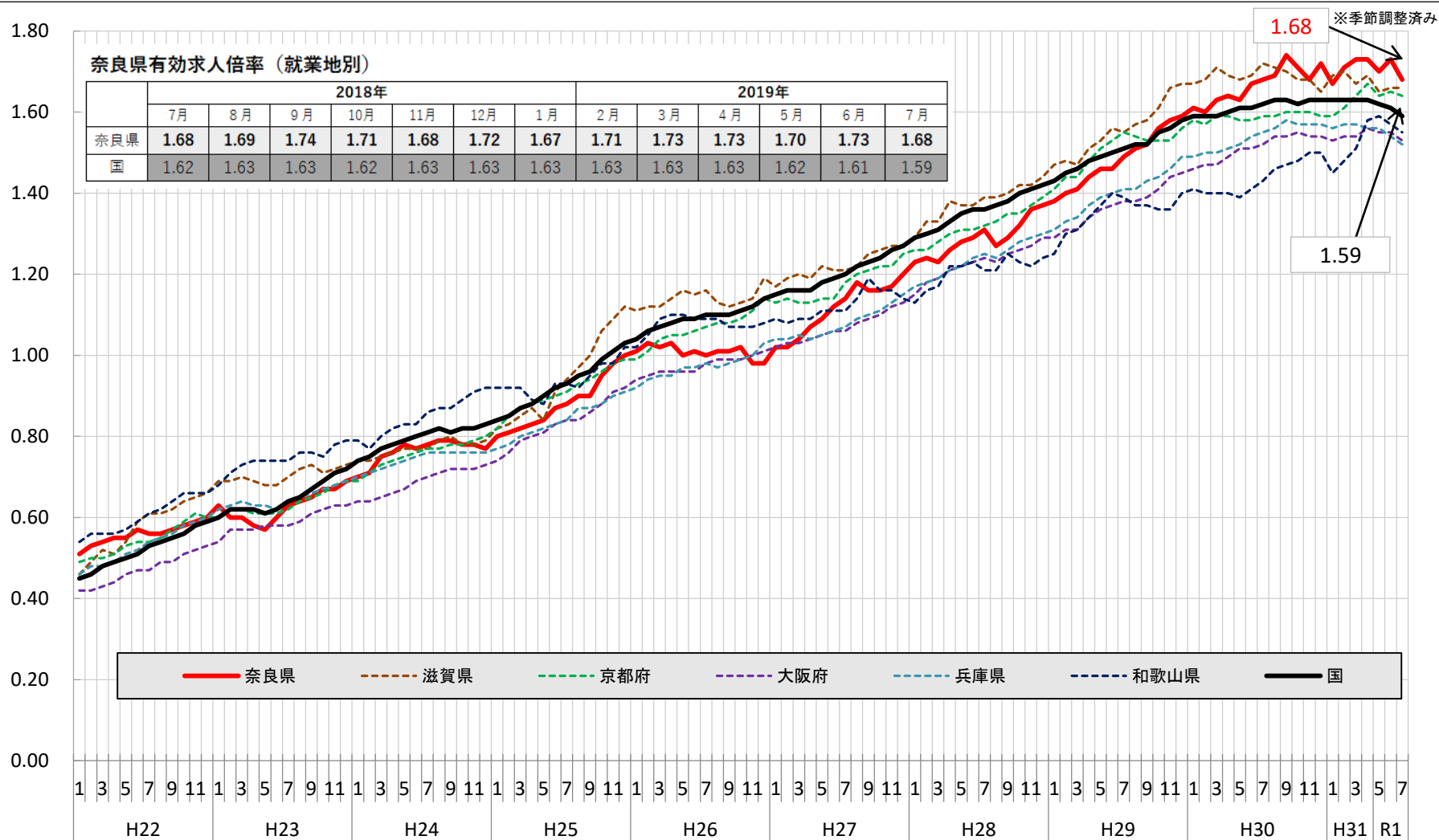
信用金庫貸出残高実数(奈良県)



※ 奈良県内に本店のある信用金庫(3信用金庫)の貸出残高

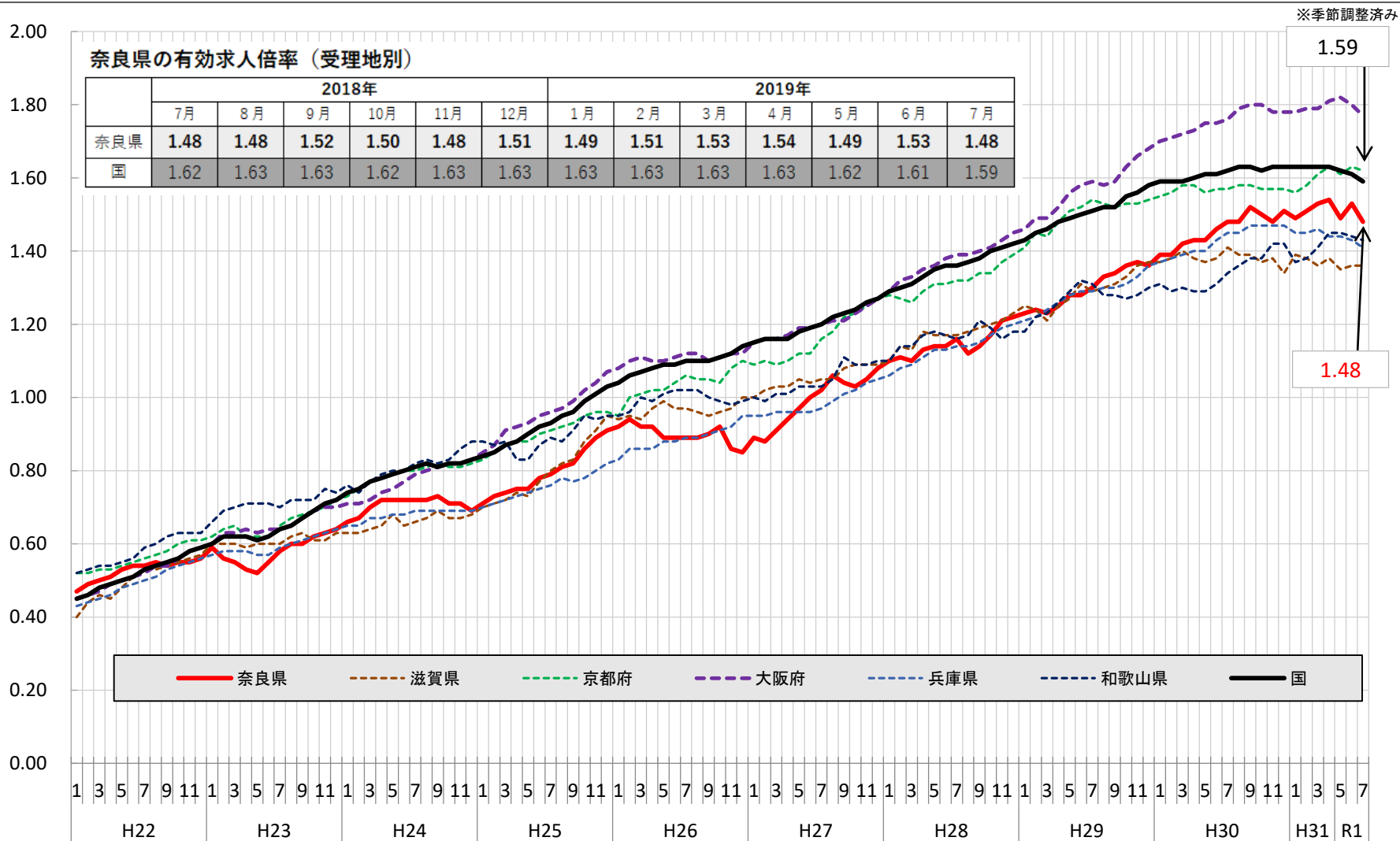
○令和元年7月の有効求人倍率(就業地別)は、1.68と前月より0.05ポイント減少した。

出典:厚生労働省 一般職業紹介状況



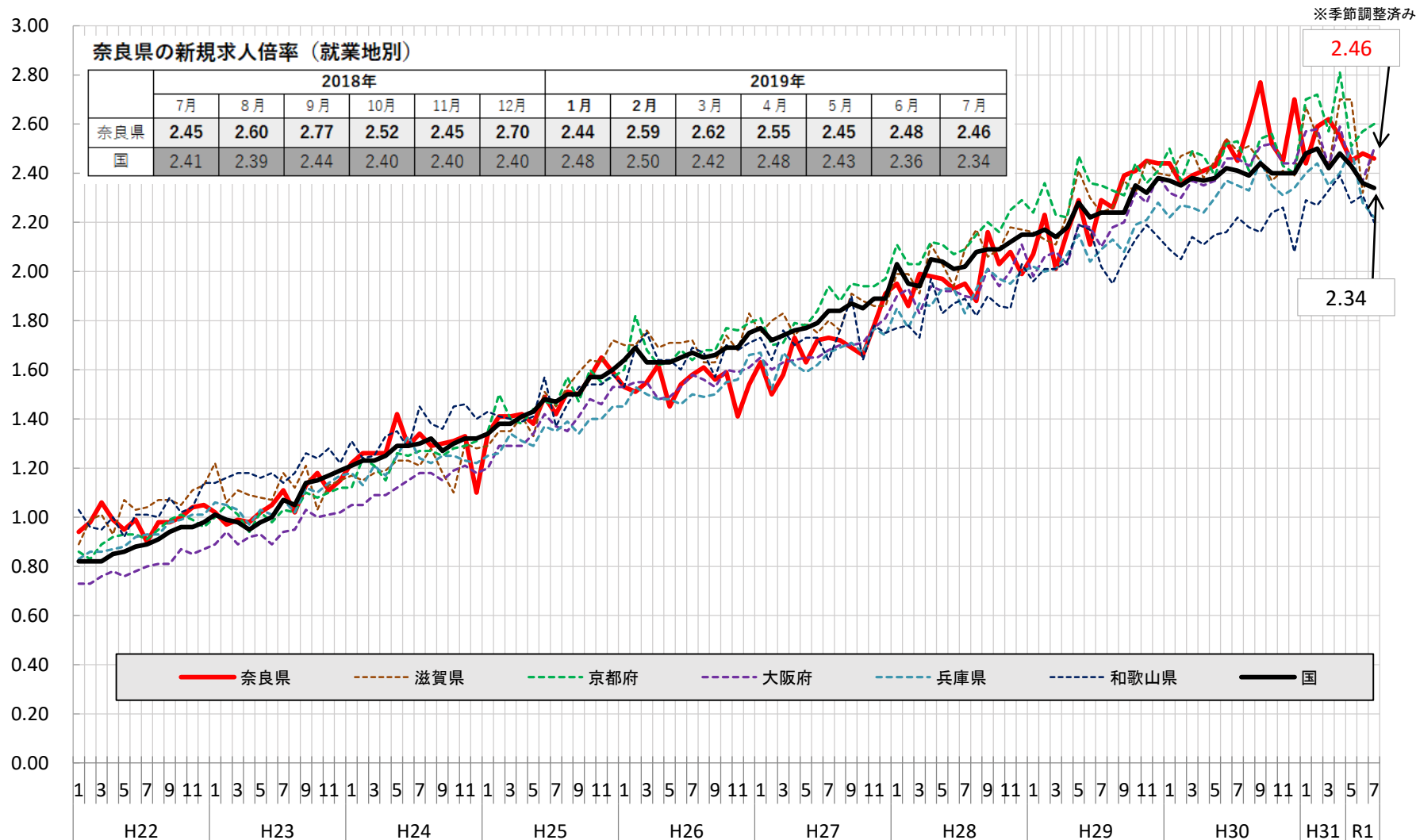
○ 令和元年7月の有効求人倍率(受理地別)は、1.48と前月より0.05ポイント減少した。

出典:厚生労働省 一般職業紹介状況



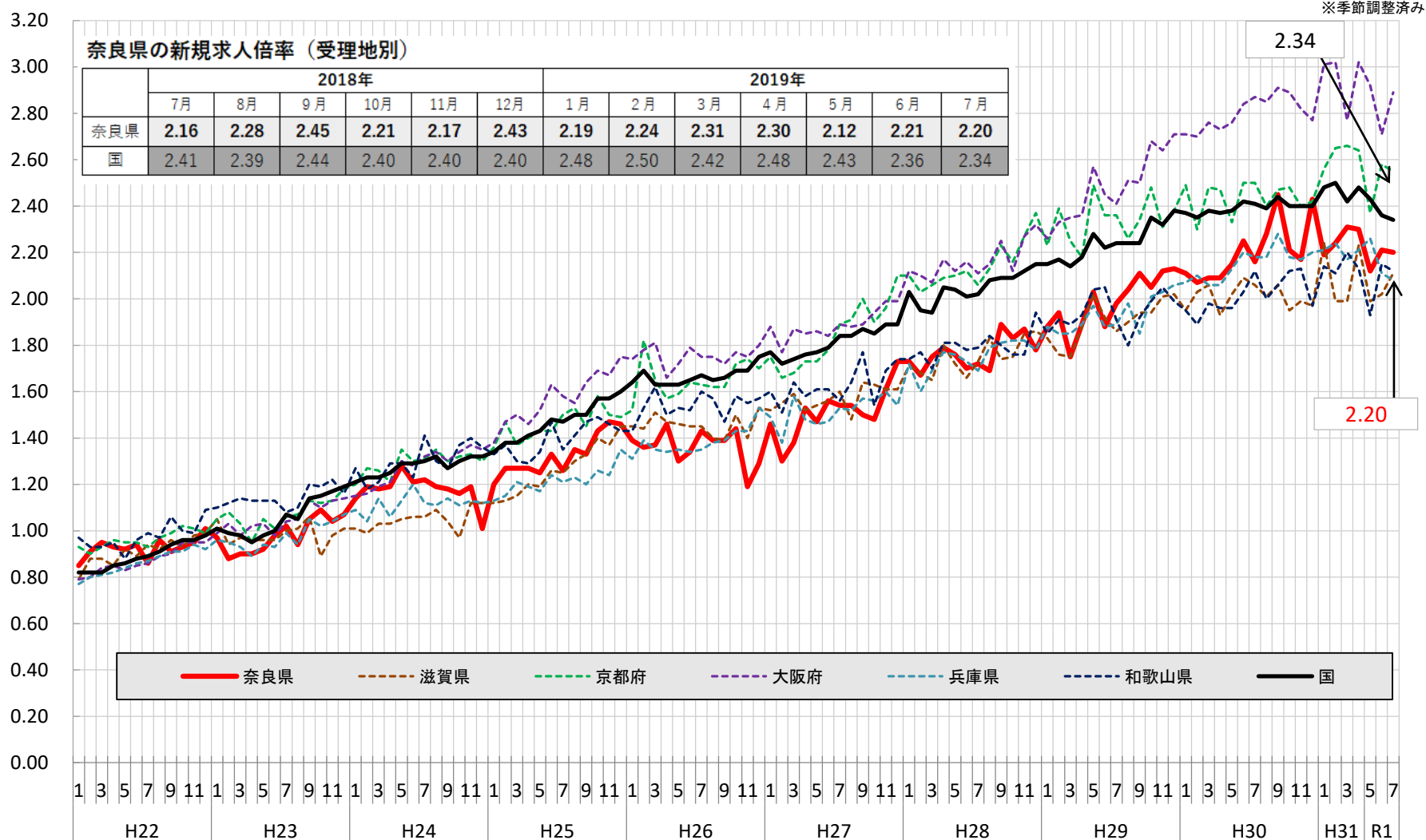
○ 令和元年7月の新規求人倍率(就業地別)は、2.46と前月より0.02ポイント減少した。

出典:厚生労働省 一般職業紹介状況



○ 令和元年7月の新規求人倍率(受理地別)は、2.20と前月より0.01ポイント減少した。

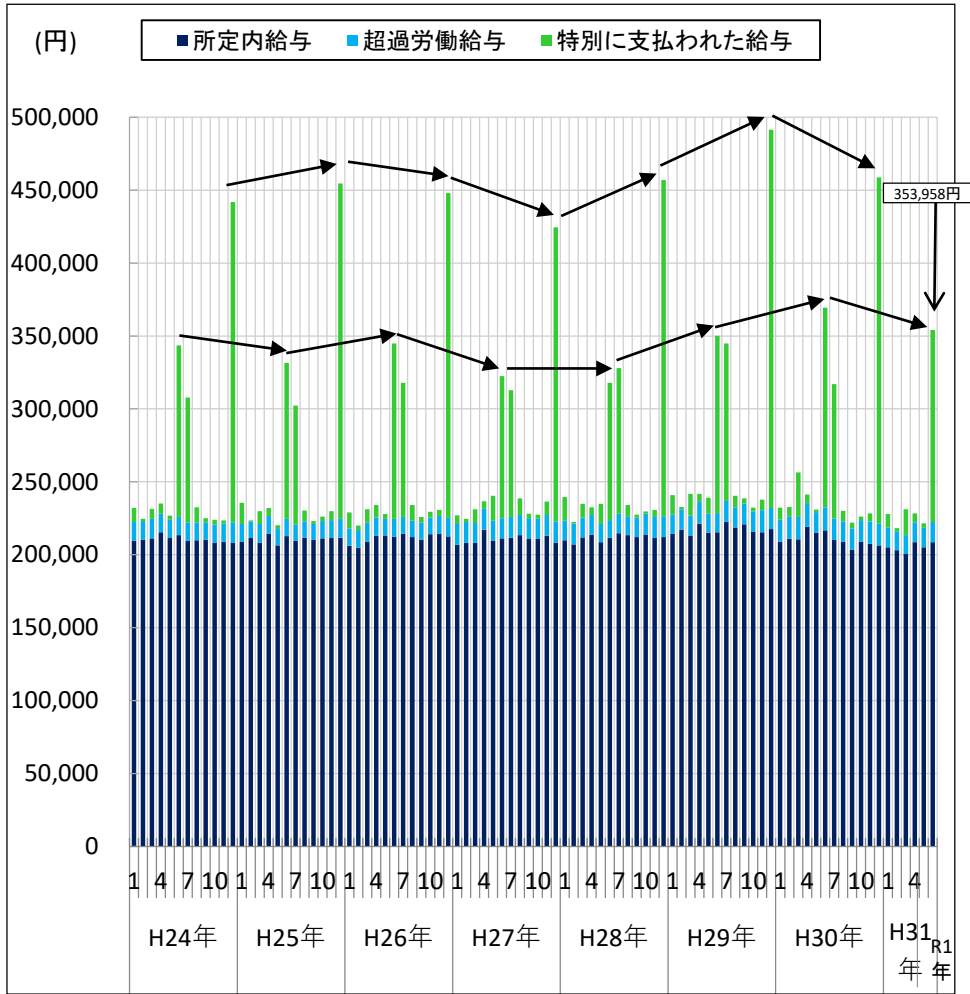
出典:厚生労働省 一般職業紹介状況



○ 現金給与総額は、令和元年6月に1人当たり353,958円となった。

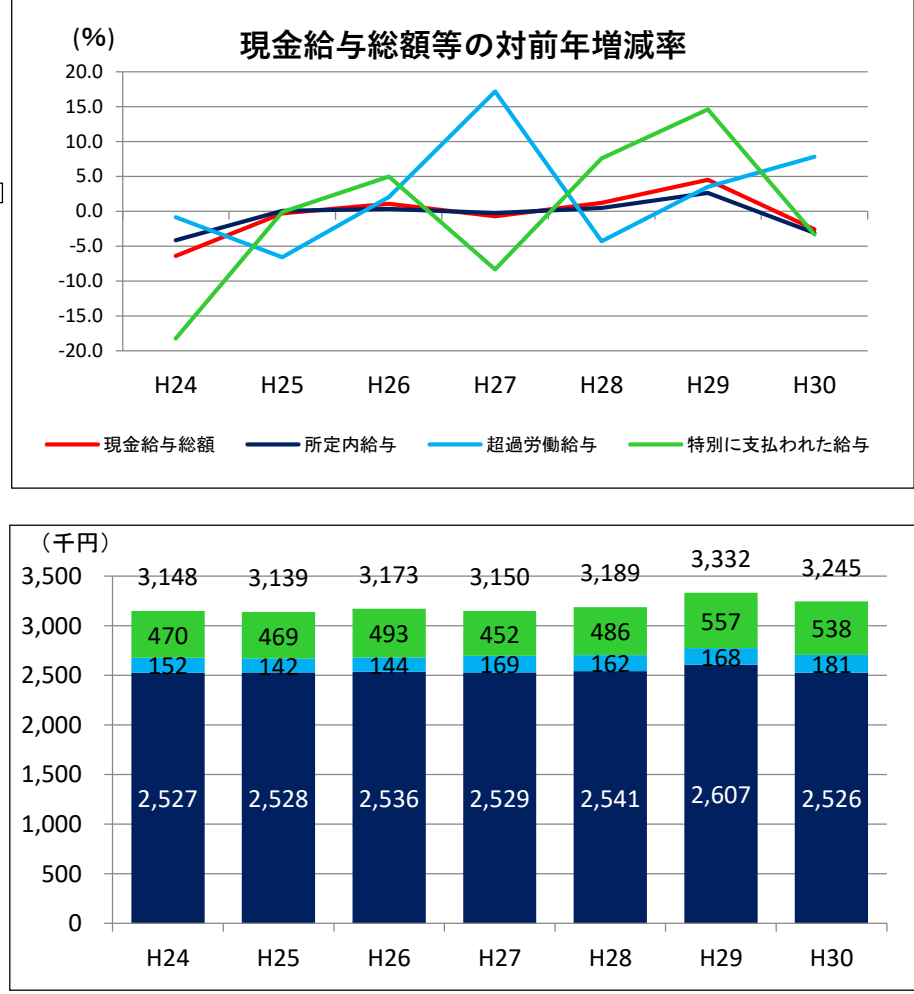
出典：奈良県・近畿各府県 毎月勤労統計調査

【例月比較】【月ごとの現金給与総額の内訳】



注）特別に支払われた給与＝主に賞与(ボーナス)

【暦年比較】

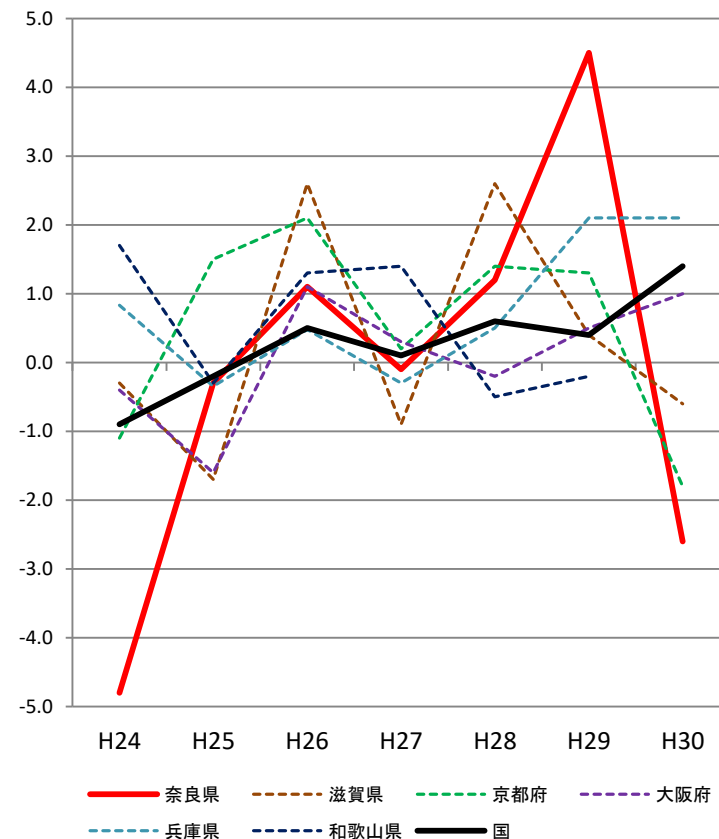
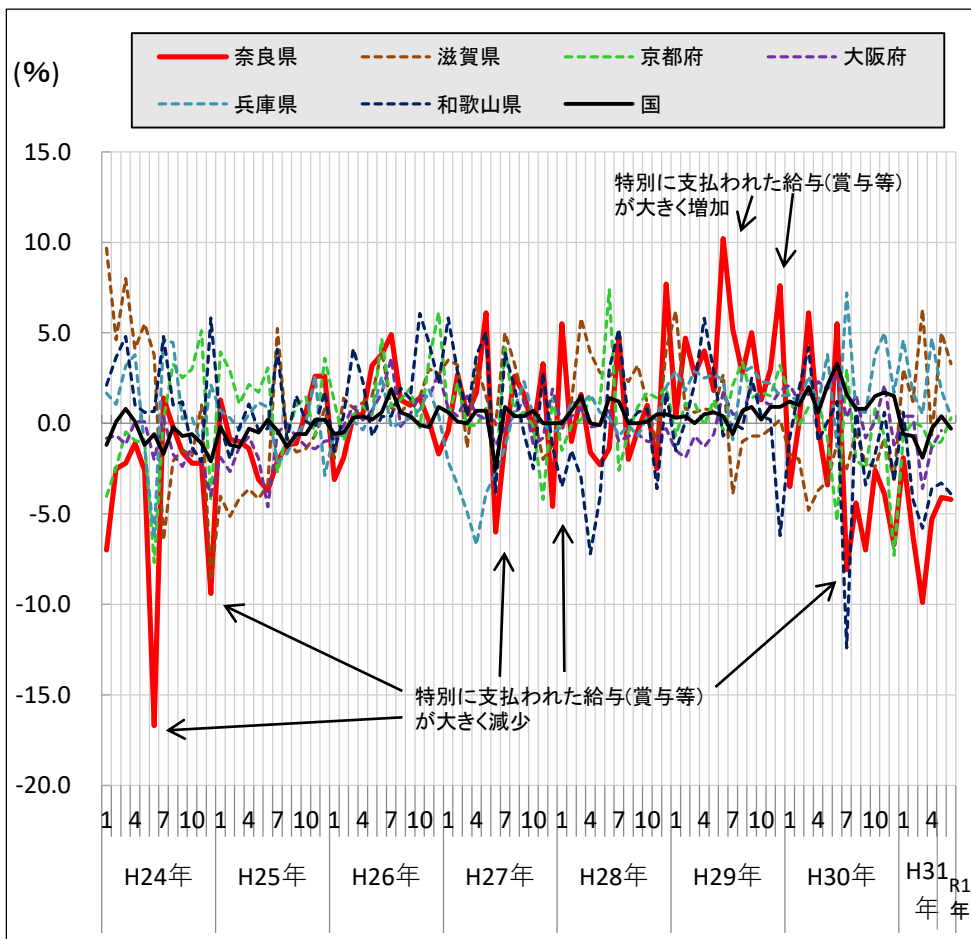


【曆年比較】

現金給与総額（年平均）前年比

	2013年	2014年	2015年	2016年	2017年	2018年
奈良県	▲ 0.3	1.1	▲ 0.1	1.2	4.5	▲ 2.6
国	▲ 0.2	0.5	0.1	0.6	0.4	1.4

	2018年										2019年				
	5月	6月	7月	8月	9月	10月	11月	12月	1月	2月	3月	4月	5月	6月	
奈良県	▲ 3.4	5.5	▲ 8.1	▲ 4.4	▲ 7.0	▲ 2.6	▲ 3.9	▲ 6.7	▲ 1.9	▲ 6.2	▲ 9.9	▲ 5.3	▲ 4.1	▲ 4.2	
国	1.4	2.8	1.4	0.6	0.7	1.1	1.7	1.5	▲ 0.6	▲ 0.7	▲ 1.9	▲ 0.3	0.4	▲ 0.3	



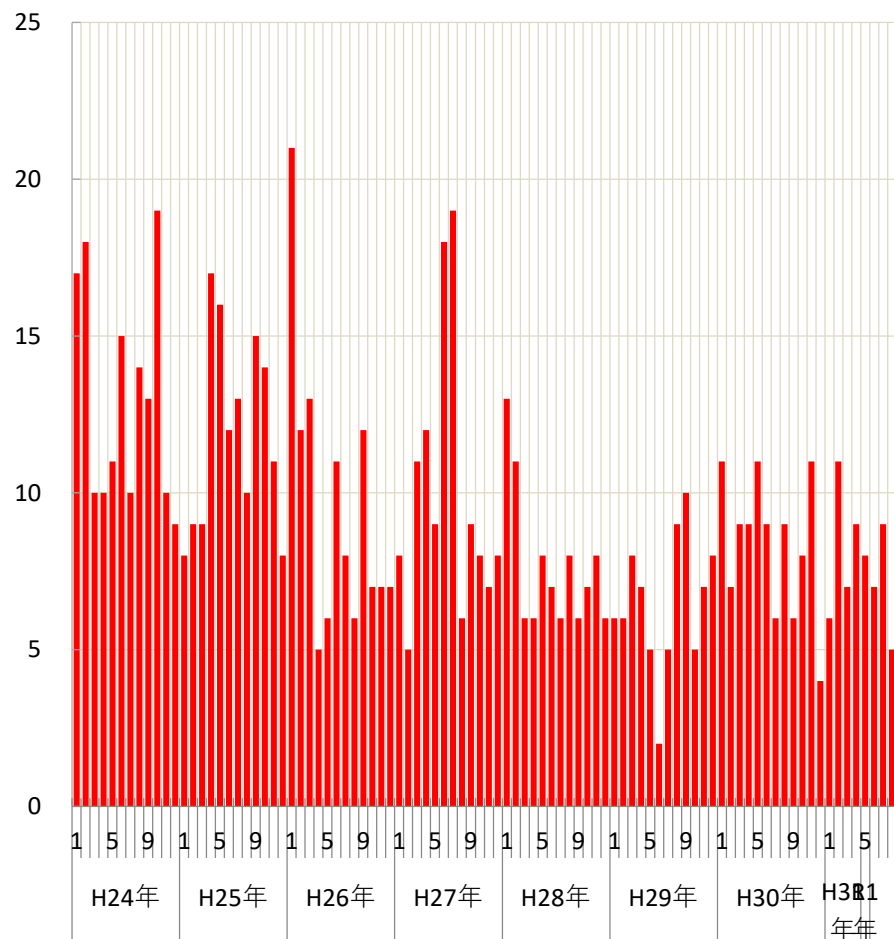
※年平均が公表されていない県に関しては、公表され次第追加します。

F. 景気【倒産】 (1) 企業倒産件数の推移 (負債総額1千万円以上) 20

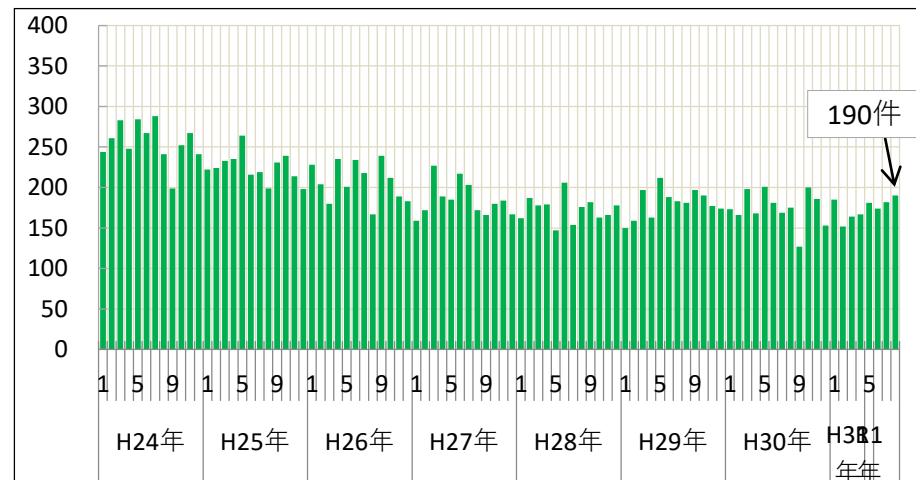
○ 令和元年8月の倒産件数は5件。

出典:東京商工リサーチ 全国企業倒産状況

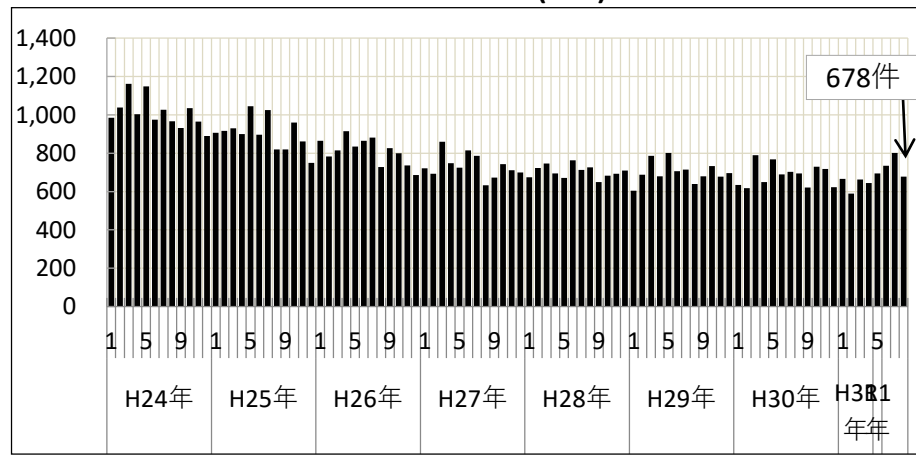
倒産件数(奈良県)



倒産件数(近畿)



倒産件数(国)

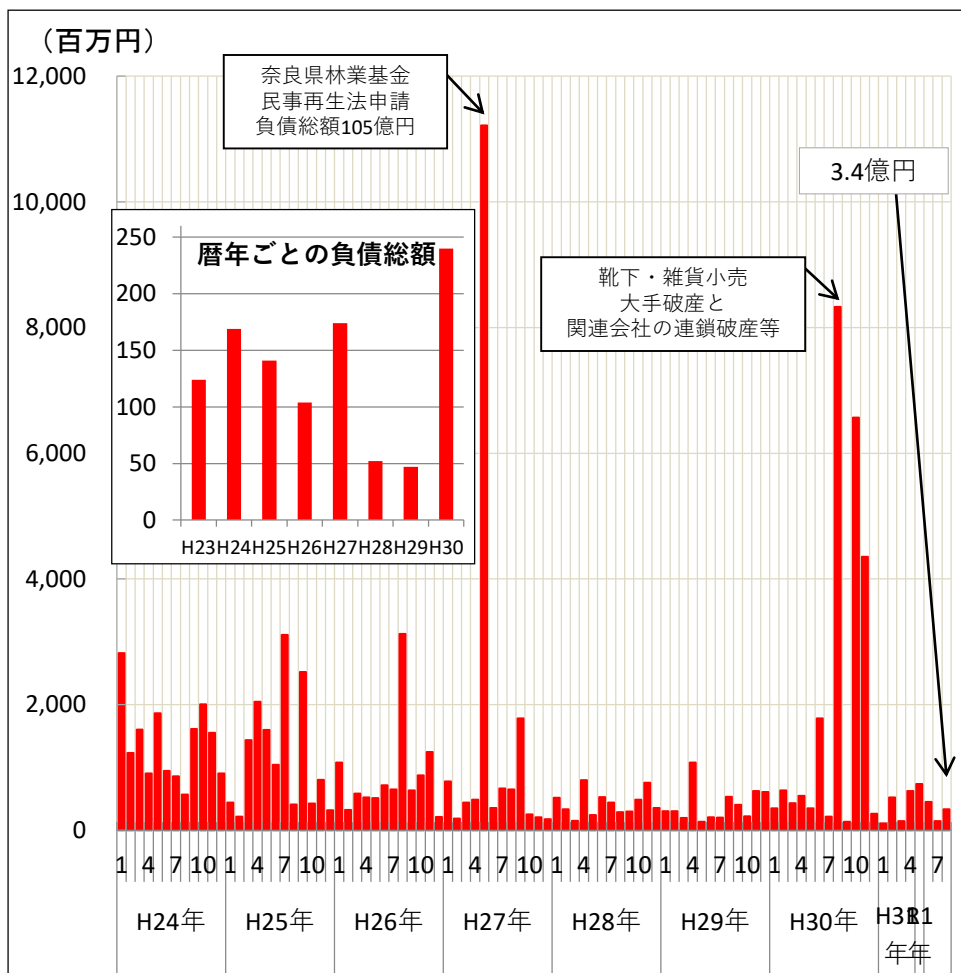


F. 景気【倒産】(2) 企業倒産負債総額の推移(負債総額1千万円以上) 21

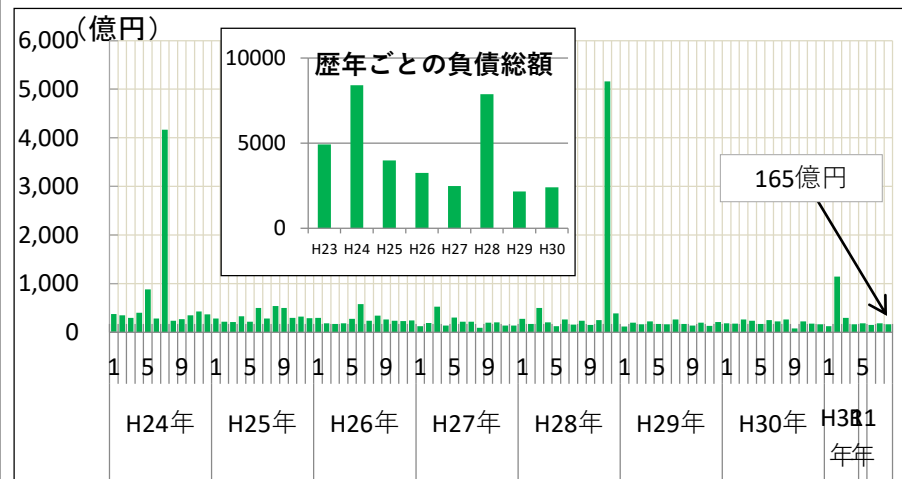
○ 令和元年8月の倒産負債総額は3.4億円。

出典:東京商工リサーチ 全国企業倒産状況

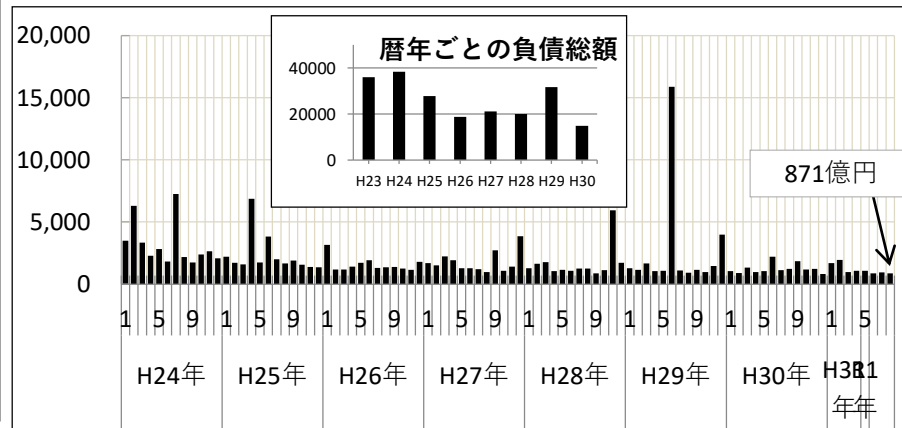
負債総額(奈良県)



負債総額(近畿)



負債総額(国)



F. 景気動向【景気全般】 景気動向指数(CI)の推移 (平成27年 = 100) 22

○ 景気動向指数(CI一致指数)は、令和元年6月に105.9と、前月と同水準となった。

出典：奈良県統計分析課

